



# 幸手市立東中学校 学力保障グランドデザイン

**学校教育目標**  
瑞々(みずみず)しい知性  
麗(うるわ)しい友情  
逞(たくま)しい体

## 学校研修課題

学ぶ意欲を高め、  
確かな学力の向上を目指した授業づくり

## 本年度の重点

- 1 生きて働く知識・技能の定着
- 2 主体的に課題解決に取り組む力の育成
- 3 粘り強くやり抜く力の育成

## 目標達成の指針

- 1 全国学力・学習状況調査 平均正答率
- 2 埼玉県学力・学習状況調査  
学力を伸ばした生徒の割合
- 3 幸手市統一学力調査  
平均正答率
- 4 家庭学習  
取組目標時間を達成した生徒の割合

困難を乗り越え、粘り強く努力し、よりよい未来を切り拓く生徒を育みます。

## 学校の共通行動



- ❖ **幸手スタンダード授業Vの徹底**  
導入から終末までを見通し、幸手スタンダード授業Vに沿った授業展開を全教員が実践できるよう、研修等を設定し、共通理解を図る。
- ❖ **規律ある態度の育成**  
生徒が自らを律することを何より重視する。東中の決まりを生徒・保護者に確実に周知のうえ、教職員一丸となって規律ある態度の育成に取り組む。
- ❖ **生徒の実態把握及び学年・学級経営の充実**  
各種調査結果やその分析等に基づく客観的な生徒の実態把握に基づき、授業改善及び個別最適な学びを推進するとともに、学年・学級経営のより一層の充実に生かす。
- ❖ **教育相談体制の充実**  
全教員が生徒一人一人の状況を共通理解し、組織的に対応する。また、必要に応じ、外部機関とも積極的に連携する。

## 確かな授業実践



- ❖ **主体的・対話的で深い学びの実現**  
生徒に「育成すべき資質・能力」を確実に育むため、授業等の実施においては、次のことを大切にする。  
●生徒が学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自分の学習活動を振り返って次につなげられるようにする。(意欲喚起・振り返り等)  
●生徒同士のやり取りや協働、教職員等との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自分の考えを広げ深められるようにする。(対話の充実)  
●習得・活用・探究という学びの過程を大切にし、生徒が各教科等の「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、自分の思いや考えを基に創造したりなどできるようにする。(学習の深化・創造等)
- ❖ **GIGAスクール構想の一層の推進**  
●生徒1人1台学習者用端末の活用  
●統合型アプリケーション及び学習eポータルの活用

## 授業外での取組



- ❖ **校内研修の充実(授業改善)**  
●校内研修における国や県の調査問題及び結果分析  
・調査問題を全教員で解き、問題分析を実施  
・分析結果から、育成すべき資質・能力や、授業改善の方向性を把握したことを、日々の授業改善に活用  
●ICTサポーターを活用したICTに特化した研修の実施  
●幸手市教育研究委嘱発表会本発表へ向けた研究の推進
- ❖ **長期休業中の取組**  
●夏季休業中のサマースクール実施(5日間)
- ❖ **コンテスト等やEAST賞(独自表彰)の実施**  
●各教科における小テスト・コンテストの実施  
●国の「コバトン問題集」や県の「復習シート」、市の「パワーアップシート」の繰り返し活用  
●各学期末にEAST賞(賞状)を授与すること等による生徒の自己効力感の高揚

## 家庭・学校間連携



- ❖ **家庭学習の習慣化**  
●家庭学習ノート(はぴすたノート)を活用した生徒の家庭学習状況把握及び指導・助言  
●定期テスト前の部活動停止期間におけるアウトメディア・チャレンジを校区内小学校と連携して実施
- ❖ **ICT機器の利活用**  
●やむを得ず登校できない生徒に対する同時双方向型授業の実施(学校から家庭への配信)
- ❖ **家庭・地域等との連携強化**  
●東中学校学校運営協議会やPTA活動、学校応援団との連携強化  
●情報発信(学校だより、学校ホームページ、学校メールの活用)